

調査概要

(1)本調査の目的

本調査は、大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るために実施しているものです。

また、市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立するためのものでもあります。

(2)調査の対象学年・学校・生徒数

(1月10日に調査を実施した学校・生徒数は以下のとおり)
中学校第1学年 門真市:6校 657人

(3)調査内容

(調査を実施した教科は以下のとおり)
中学校第1学年 国語・数学・英語

(4)大阪府公立高等学校入学者選抜への活用について
中学生チャレンジテストは、大阪府高校入試の調査書(内申書)の資料として活用されます。

調査結果の概要

【全体】

・国語、数学、英語の各教科において府平均を下回っており、府とは約5.8～8.2の得点差が見られます。

【同一集団】

・今回の中学生チャレンジテストは、大阪府で行われているものであるため、4月実施の門真市学習到達度調査(令和5年)とは、正確に比較することはできません。ただ、参考までに、右下段にグラフを載せています。

【異集団】

・令和4年度の同調査と比較すると、国語・英語の教科において府平均との差が縮まりました。数学の教科において府平均との差が広がりました。

○本市では、門真市版授業づくりベーシック(学習指導要領に基づいた授業改善)を推進しています。その成果を大阪府「平均正答率7割以上の問題」において見図っており、本市においても同じく正答率7割以上を目指すということの一つの目標として取り組んでおります。
その観点において、今回の結果は以下の通りでした。

令和4年度 国語【全30問中】大阪府(13問)門真市(7問) 数学【全32問中】大阪府(9問) 門真市(4問) 英語【全39問中】大阪府(15問)門真市(12問)
令和5年度 国語【全31問中】大阪府(15問)門真市(10問) 数学【全33問中】大阪府(6問) 門真市(3問) 英語【全39問中】大阪府(17問)門真市(14問)

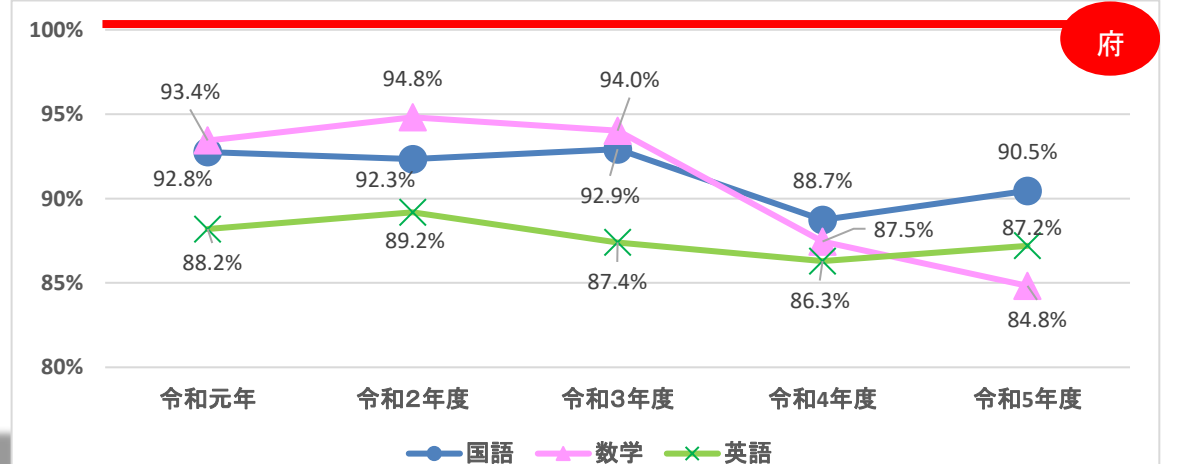
学年・教科別得点

平均得点

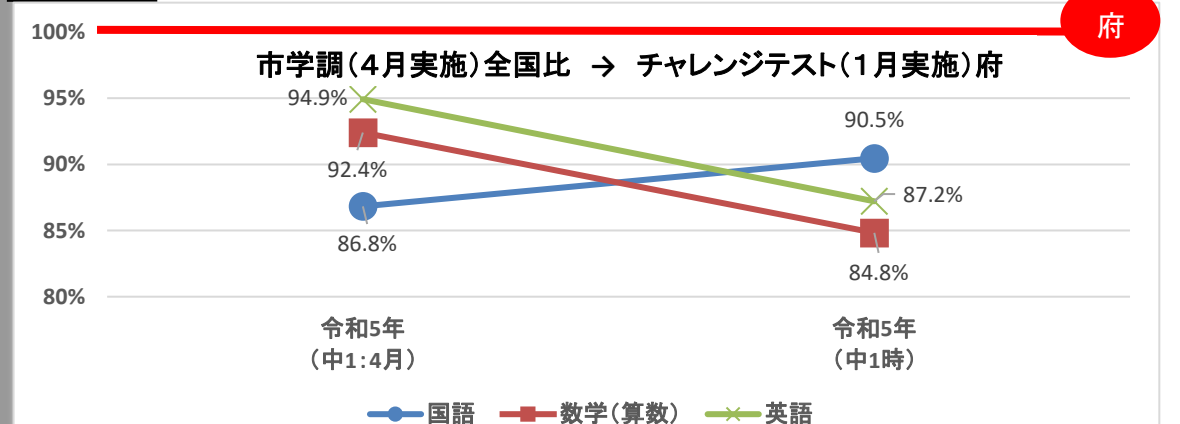
	R4年度(1年生)		R5年度(1年生)	
	門真市	大阪府	門真市	大阪府
国語	52.0	58.6	55.0	60.8
数学	48.1	55.0	46.4	54.7
英語	51.0	59.1	55.9	64.1

対府比較による経年比較

異集団



同一集団



※ 4月は、門真市学習到達度調査における全国平均と比較した数字であり、1月は、中学生チャレンジテストにおける大阪府平均と比較した数字です。

調査結果からわかる成果・課題と今後の取組みについて

【成果と課題について】

○学習指導要領の定着を見とる指標として、府平均正答率7割以上の問題に対して、本市においても同じく7割以上をめざして取り組んでおりますが、国語・数学・英語の3教科ともに達成できていない結果となりました。しかしながら英語においては昨年度と比較し一定改善が見られます。また、アンケート結果を見ますと、「間違っただけや意見を受け入れる学級の雰囲気がある」等については高い傾向にあるものの、「家で自分の苦手なところ、必要としているところを考えて学習する」「社会的な出来事に関心をもち」等、主体的に学ぶ力や自己調整力等に課題が見られます。

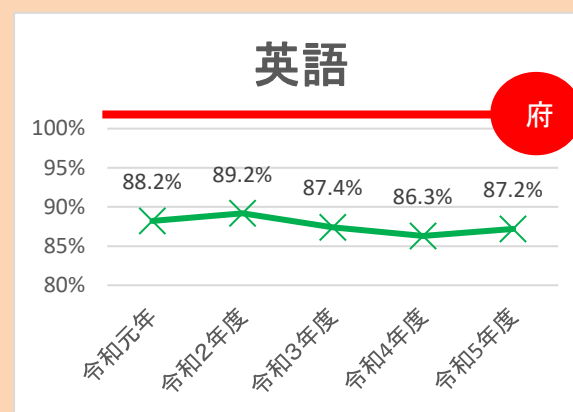
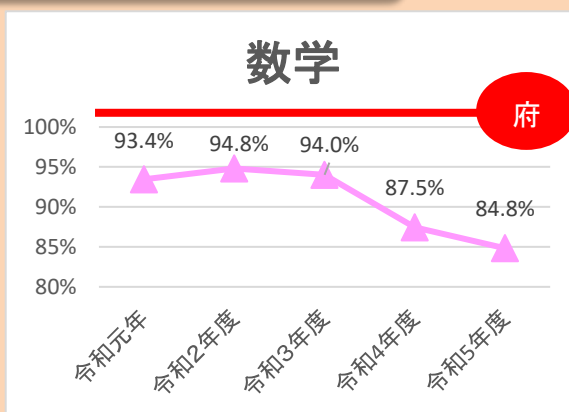
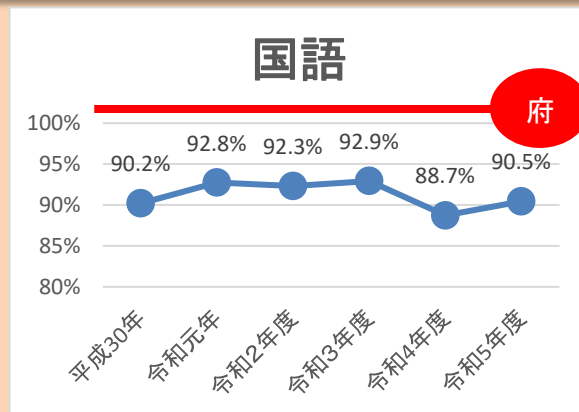
【今後の取組について】

○門真市教育委員会では、子どもたちの将来の自立のため、学習指導要領の着実な定着をめざしております。今後は子どもたちの「主体的に学ぶ力」「探究的に学ぶ力」を育むため、一律で平準化した一斉授業スタイルの学び方から、子どもたち一人一人の個性に目を向けた「子ども主体」の授業への転換を図りながら、「令和の日本型学校教育」の実現をめざし、子どもたちの確かな学力の育成に向けて取り組みを進めてまいります。

○引き続き、門真市教育委員会指導主事等が定期的に学校訪問を行うなど、学校と教育委員会が一体となり、子どもたちの学力向上の取組を推進してまいります。保護者の皆様におかれましても、ご協力とご支援を引き続きよろしくお願い致します。

※ 今回お知らせする調査結果につきましては、学力や学習の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などの全てを表すものではありません。

平均点における対府比較の経年変化(教科別)



お願い

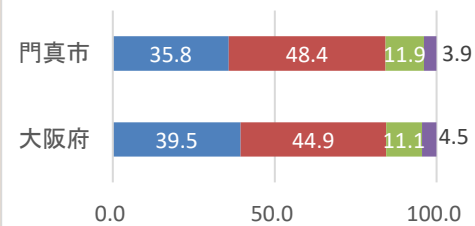
○今後も学校と門真市教育委員会が連携し、チャレンジテストの結果分析も行い、子どもの力をより良く育成できる授業改善及び学校教育環境の改善をさらに行ってまいります。

○保護者の皆様には、結果が返却される機会に、お家でもお子さまと、学習に関することに加え、スマートフォンやタブレットの活用など、生活習慣について、お話しする機会をつくっていただきますようお願い致します。



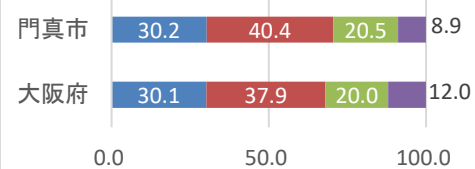
生徒アンケート(対府比較)

文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる



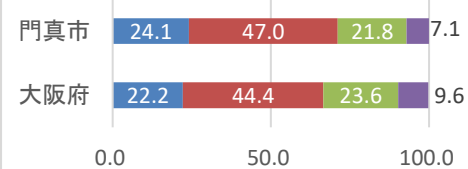
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている



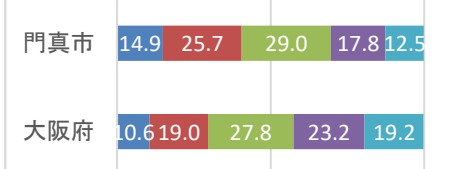
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある



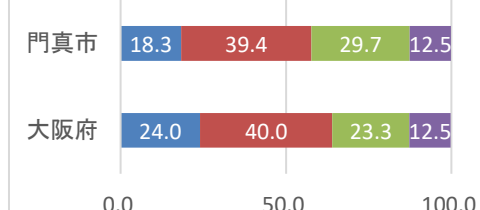
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか



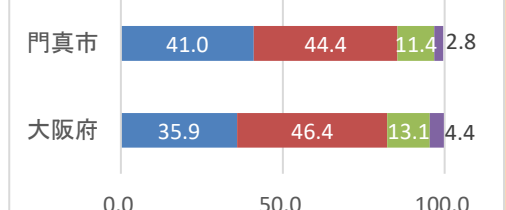
- 1. ほぼ毎日
- 2. 週3回以上
- 3. 週1回以上
- 4. 月1回以上
- 5. 月1回より少ない

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している



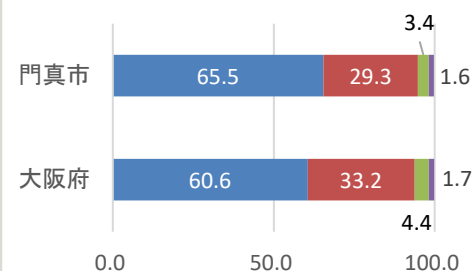
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある



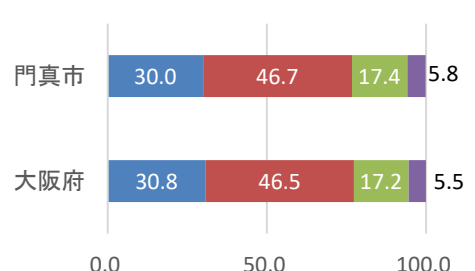
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

学校などで、他の人と協力し合うことができる



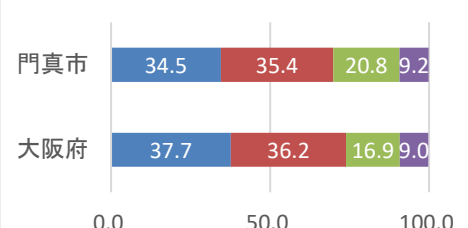
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

難しいことがあっても、あきらめられない



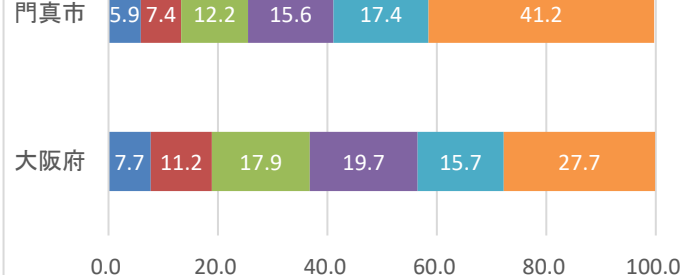
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている



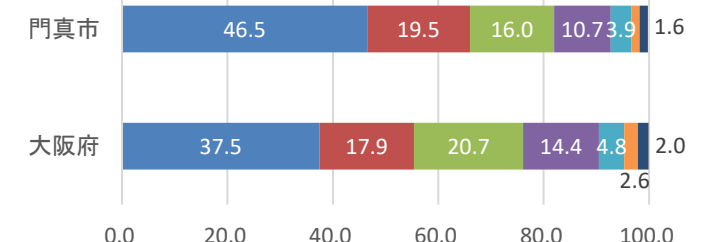
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか



- 1. 2時間以上
- 2. 1時間以上、2時間より少ない
- 3. 30分以上、1時間より少ない
- 4. 10分以上、30分より少ない
- 5. 10分より少ない
- 6. 全くしない

普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか



- 1. 4時間以上
- 2. 3時間以上、4時間より少ない
- 3. 2時間以上、3時間より少ない
- 4. 1時間以上、2時間より少ない
- 5. 30分以上、1時間より少ない
- 6. 30分より少ない
- 7. スマートフォンやタブレットを持っていない

※ 無回答があるため、全ての数値を足しても、100%にはなりません。

調査概要

(1) 本調査の目的

本調査は、大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るために実施しているものです。

また、市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立するためのものでもあります。

(2) 調査の対象学年・学校・生徒数

(1月10日に調査を実施した学校・生徒数は以下のとおり)
中学校第2学年 門真市:6校 646人

(3) 調査内容

(調査を実施した教科は以下のとおり)
中学校第2学年 国語・社会・数学・理科・英語

(4) 大阪府公立高等学校入学者選抜への活用について
中学生チャレンジテストは、大阪府高校入試の調査書(内申書)の資料として活用されます。

調査結果の概要

【全体】

・国語、社会、数学、理科、英語の各教科において府平均を下回っており、府とは約5.7～9.1の得点差が見られます。

【同一集団】

・1年生時の同調査(令和5年1月実施)と比較すると、国語・数学の教科において府平均との差が縮まりました。英語の教科において府平均との差が広がりました。

【異集団】

・令和4年度の同調査と比較すると、数学・社会・英語の教科において府平均との差が縮まりました。国語・理科の教科において府平均との差が広がりました。

○本市では、門真市版授業づくりベーシック(学習指導要領に基づいた授業改善)を推進しています。その成果を大阪府 平均正答率7割以上の問題」において見図っており、本市においても同じく正答率7割以上を目指すということを一つの目標として取り組んでおります。
その観点において、今回の結果は以下の通りでした。

令和4年度	国語 【全31問中】大阪府(14問)門真市(12問) 理科 【全31問中】大阪府(6問)門真市(6問)	社会 【全36問中】大阪府(2問)門真市(1問) 英語 【全37問中】大阪府(10問)門真市(5問)	数学 【全30問中】大阪府(5問) 門真市(4問)
令和5年度	国語 【全30問中】大阪府(16問)門真市(10問) 理科 【全30問中】大阪府(1問)門真市(0問)	社会 【全35問中】大阪府(8問)門真市(5問) 英語 【全37問中】大阪府(13問)門真市(8問)	数学 【全29問中】大阪府(6問) 門真市(4問)

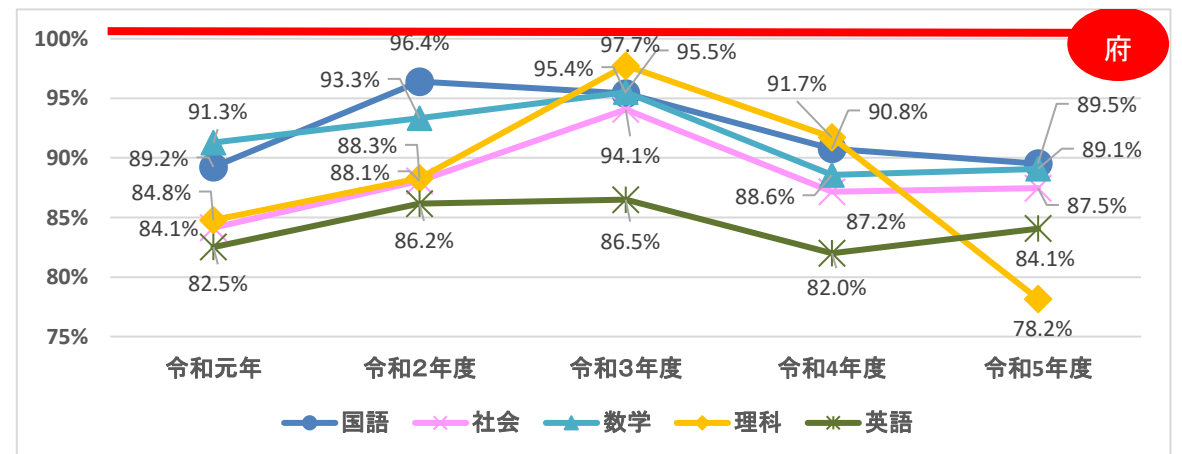
学年・教科別得点

平均得点

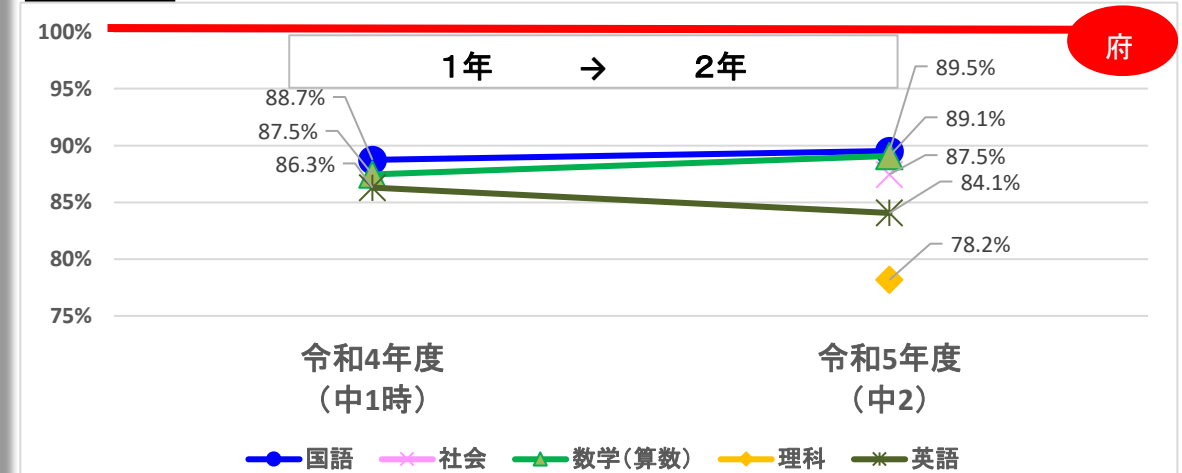
	令和4年度		令和5年度	
	門真市	大阪府	門真市	大阪府
国語	54.1	59.6	59.8	66.8
社会	38.7	44.4	47.4	54.2
数学	43.4	49.0	46.5	52.2
理科	48.7	53.1	31.5	40.3
英語	46.0	56.1	48.0	57.1

対府比較による経年比較

異集団



同一集団



中1の受検教科は、国語・数学・英語の3教科です。

今後の取組みについて

【成果と課題について】

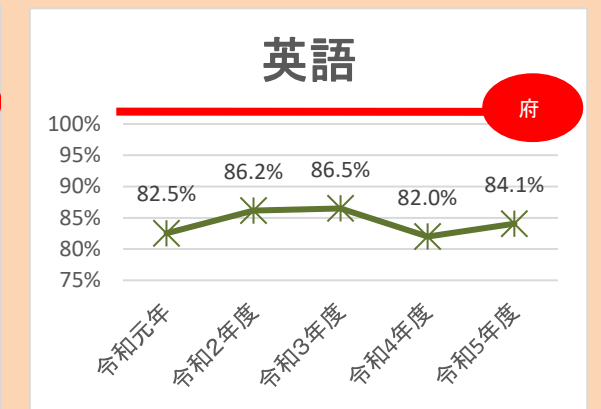
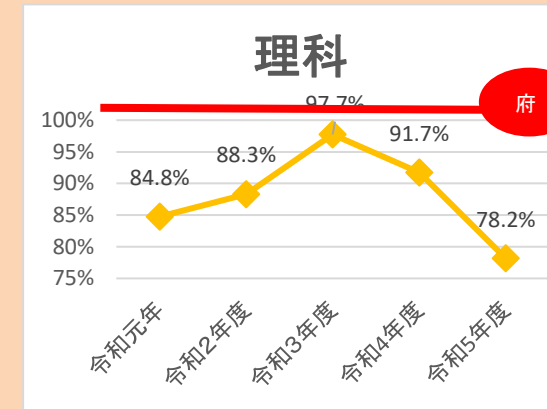
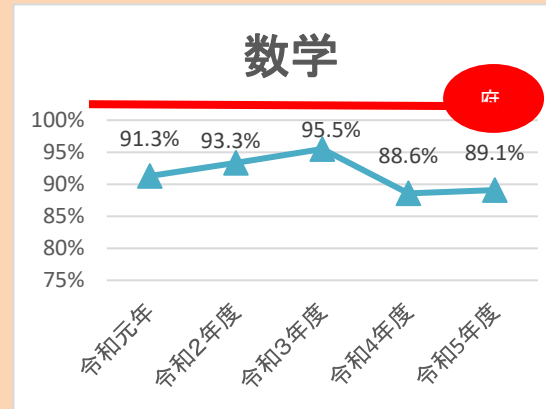
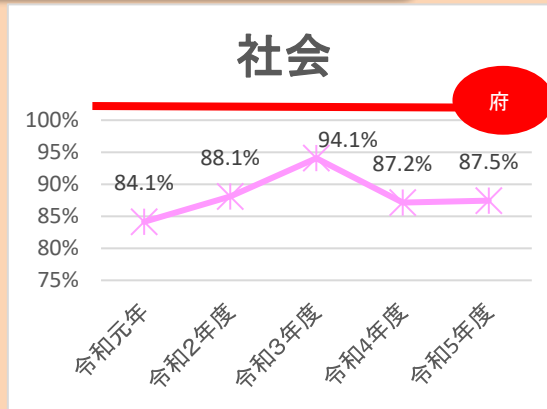
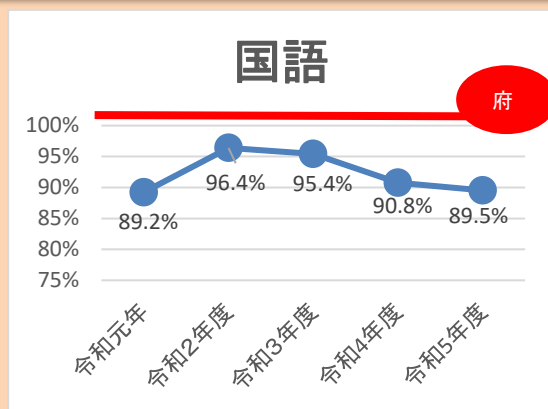
○学習指導要領の定着を見とる指標として、府平均正答率7割以上の問題に対して、本市においても同じく7割以上をめざして取り組んでおりますが、国語・社会・数学・理科・英語の5教科ともに達成できていない結果となりました。しかしながら社会・英語においては昨年度と比較し一定改善が見られます。また、アンケート結果を見ますと、「PC・タブレットを使い、授業中意見交換する」等については高い傾向にあるものの、「家で自分の苦手なところ、必要としているところを考えて学習する」「思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする」等、主体的に学ぶ力や自己調整力等に課題が見られます。

【今後の取組について】

○門真市教育委員会では、子どもたちの将来の自立のため、学習指導要領の着実な定着をめざしております。今後は子どもたちの「主体的に学ぶ力」「探究的に学ぶ力」を育むため、一律で平準化した一斉授業スタイルの学び方から、子どもたち一人一人の個性に目を向けた「子ども主体」の授業への転換を図りながら、「令和の日本型学校教育」の実現をめざし、子どもたちの確かな学力の育成に向けて取り組みを進めてまいります。○引き続き、門真市教育委員会指導主事等が定期的に学校訪問を行うなど、学校と教育委員会が一体となり、子どもたちの学力向上の取組を推進してまいります。保護者の皆様におかれましても、ご協力とご支援を引き続きよろしくお願い致します。

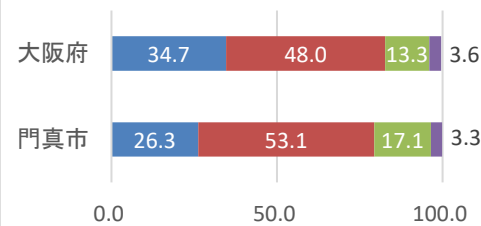
※ 今回お知らせする調査結果につきましては、学力や学習の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などの全てを表すものではありません。

平均点における対府比較の経年変化(教科別)



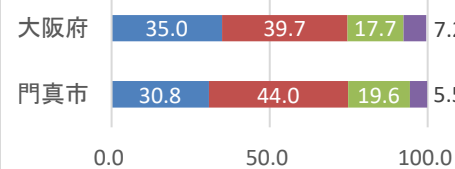
生徒アンケート(対府比較)

文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる



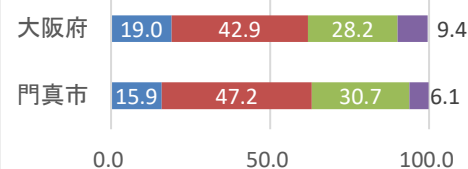
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている



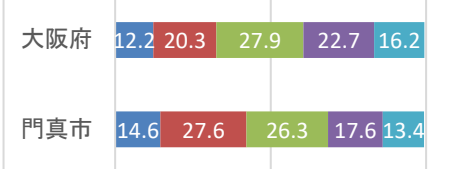
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある



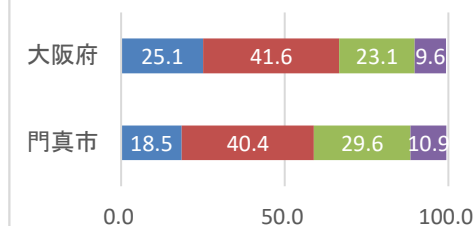
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか



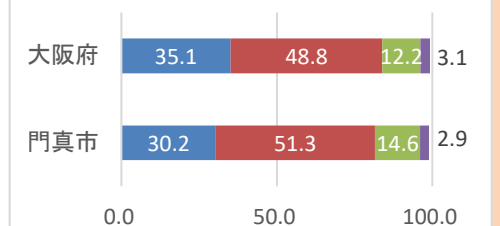
- 1. ほぼ毎日
- 2. 週3回以上
- 3. 週1回以上
- 4. 月1回以上
- 5. 月1回より少ない

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している



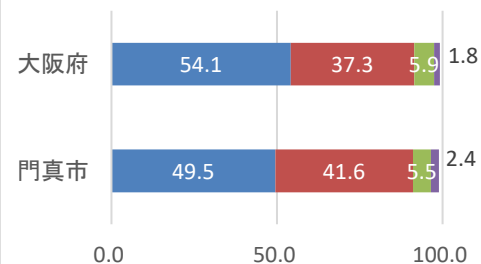
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある



- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

学校などで、他の人と協力し合うことができる



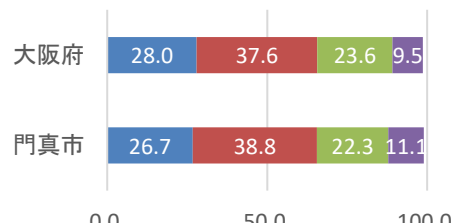
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

難しいことがあっても、あきらめられない



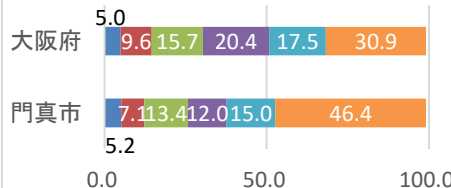
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている



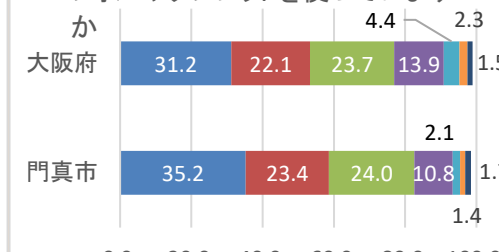
- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか



- 1. 1.2時間以上
- 2. 2.1時間以上、2時間より少ない
- 3. 3.30分以上、1時間より少ない
- 4. 4.10分以上、30分より少ない
- 5. 5.10分より少ない
- 6. 全くしない

普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか



- 1. 1.4時間以上
- 2. 2.3時間以上、4時間より少ない
- 3. 3.2時間以上、3時間より少ない
- 4. 4.1時間以上、2時間より少ない
- 5. 5.30分以上、1時間より少ない
- 6. 6.30分より少ない
- 7. スマートフォンやタブレットを持っていない

お願い

今後も学校と門真市教育委員会が連携し、チャレンジテストの結果分析も行い、子どもの力をより良く育成できる授業改善及び学校教育環境の改善をさらに行ってまいります。

保護者の皆様には、結果が返却される機会に、お家でもお子さまと、学習に関することに加え、スマートフォンやタブレットの活用など、生活習慣について、お話しする機会をつくっていただきます